

考えてみよう 言葉と表現

このような言葉や表現、使っていませんか。

普段、何気なく使っている中にも、男女を必要以上に区分したり、「男性が上位」というイメージを与えるような表現が見受けられることがあります。男女平等の観点から、その言葉や表現、もう一度考えてみませんか。

避けたい表現	理由	望ましい表現
主人、旦那 奥さん、家内	男性を主、女性を従にとらえ、女性は家の中にいるような印象を受けます	夫 妻 配偶者、パートナー
嫁 嫁ぐ 舅（しゅうと） 姑（しゅうとめ）	かつての家父長制度に基づいた表現です	息子の妻、〇〇さんのパートナー 結婚する 妻（夫）の父 妻（夫）の母
婦人、婦女	男性側に対話がありません	女性
男勝り、男顔負けの 女だてらに、女のくせに	たとえほめ言葉であっても、女性が男性より劣っていることを前提とした表現です	使用しない
父兄	保護者を男性に特定した、男性中心の言葉です	保護者
女流作家 女子アナ 女医 女性弁護士	女性の場合にだけ職業名の前に「女性～」とつけることにより性別を強調したり特別視したりすることにつながります	作家 アナウンサー 医師 弁護士
OL サラリーマン	男女で区別する必要はありません	会社員
保母、保父 看護婦、看護師 保健婦、保健士	1998年に法制定・1999年施行 2001年に法制定・2002年施行 2001年に法制定・2002年施行	保育士 看護師 保健師

4 目を引くだけの

表現になっていませんか？

伝えたい内容と関係なく、女性をポスターなどに用いていませんか。

内容と無関係な用い方をすると、女性を飾り物扱いしているようなイメージを与えかねません。

伝えたい内容は何かを考え、より効果的な表現となるよう工夫しましょう。

